

教科名		国 語	教科書調査報告
発行者名		東京書籍	教育出版
調査の観点			
A 内容について	(1) 基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元の最初に心情の変化や要旨の捉え方など、既習事項を思い出して学習できるよう、二次元コードを示す工夫がされている。</li> <li>学習内容がマップ形式に示されており、学習が進むごとに次の学年へ近付いていくことが視覚的に分かるようになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「よむこと」教材の単元には、「たしかめよう」「くわしくよもう」「まとめよう」「つたえあおう」の4つのステップについて、単元の最後に示すページがある。そのため、どのような学習活動を通して何を学ぶのかといった学習事項が、教科書上に示されている。</li> <li>「見通しをもとう」で活動内容が明示されているため、どのような言語活動で学習するか分かるようになっている。</li> </ul>
	(2) 課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年生に「自分の考えをもつ」取り組みが示されており、その考えを伝え合えるよう学習活動が工夫されている。</li> <li>デジタルノートの書き方が示されており、考えを整理したり、修正したりできるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「読む」単元で、登場人物によって会話文の文字の大きさが変わっているところがあり、音読の工夫がしやすい。</li> <li>6年生の学習では、地域防災をテーマにしたパネルディスカッションの学習があり、身近なテーマについて意見をもち、説得力をもった発信をする学びができるようになっている。</li> </ul>
	(3) 資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いのテーマが身近で、話し合いやすい。</li> <li>5・6年生の、要旨をまとめたり意見を述べる際の工夫を読み取ったりする単元で、インターネットとの関わりに関する説明的文章が使用されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手紙の書き方と一緒にメールの文面の書き方が示されている。</li> <li>ペン図やウェビングマップなどを用いて思考を整理する方法が複数紹介されており、他の場面でも活用できるようになっている。</li> </ul>
	(4) 持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>外来種問題やプラスチックごみ問題を説明文に取り上げることで、環境問題に着目している。</li> <li>総まとめとして、6年生でSDGsについて取り上げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代社会の問題を自らの課題として考えられるよう、SDGsの目標との関わりが示されている。</li> <li>障害理解や気候変動など、具体的な課題と向き合うための視点が取り入れられている。</li> </ul>
B 使用上の便宜について	(1) 児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元名の近くに「話す・聞く」などの観点が示されている。</li> <li>各単元の初めのページに学習の流れを明示し、その単元で何をどのように学ぶかが見通せるような工夫をしている。</li> <li>デジタルコンテンツを活用して学びを深めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「見通しをもとう」の中で、「伝え合おう」という場が設定されており、学んだことを生かして対話ができるよう工夫されている。</li> <li>点字が実際に触れられるようになっている。</li> <li>「本を読もう」、「図書館へ行こう」などの中で、多数の本が紹介されており、読書への意欲を高められる。</li> </ul>
	(2) 多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年の「図書館へ行こう」、5年生の「地域のみりよくを伝えよう」、6年生の「社会教育施設に行こう」等で取り上げられた教材は、多摩市の中で地域の魅力を伝えたり、社会教育施設に行ったりすることに活用できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6年生の「地域防災」をテーマにしたパネルディスカッションの学習は、河川が近くにある多摩市の児童にとって身近な題材として学ぶことができる。</li> </ul>

教科名		国 語	教科書調査報告
発行者名		光村図書出版	
調査の観点			
A 内容について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習」「言葉」「たいせつ」「ふりかえろう」など、学習に必要な事柄が絞られており、ユニバーサルデザインの観点から見て視覚的に情報を受け取りやすい。</li> <li>・各単元の「たいせつ」には、その単元で学んだことを生かして取り組む学習活動やポイントがまとめられている。巻末に『「たいせつ」のまとめ』があり、1年間で身に付けた力を振り返ることができる。</li> </ul>	
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の初めに、これから課題を解決させるための問いを示し、学習の見通しがもてるよう工夫している。</li> <li>・ヒントのイラストや書き方の例など、思考をサポートする工夫が見られる。</li> </ul>	
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生の教科書では、観察日記の視点が「いろ」「かたち」「おおきさ」など具体的に掲載されており、情報量が適切である。</li> <li>・ミステリーを取り上げることで、現代の児童の関心を高めている。</li> </ul>	
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点を取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生で自然環境を守るための教材が取り上げられている。</li> <li>・2年生から6年生でSDGsに関する本が紹介されている。</li> <li>・6年の「書く」単元でSDGsが取り上げられている。</li> </ul>	
B 使用上の便宜について	(1)児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年が始まるときに、自分が目指す学びの姿を書き込めるようになっている。</li> <li>・話し合いの場面では、対話を通して学びを深めるイメージがもちやすいよう、イラストで示している。</li> </ul>	
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生の学習では、「つぼみ」や「うみのかくれんぼ」、「どうぶつの赤ちゃん」など、身近な自然や動植物など命を扱った内容が取り上げられている。</li> </ul>	